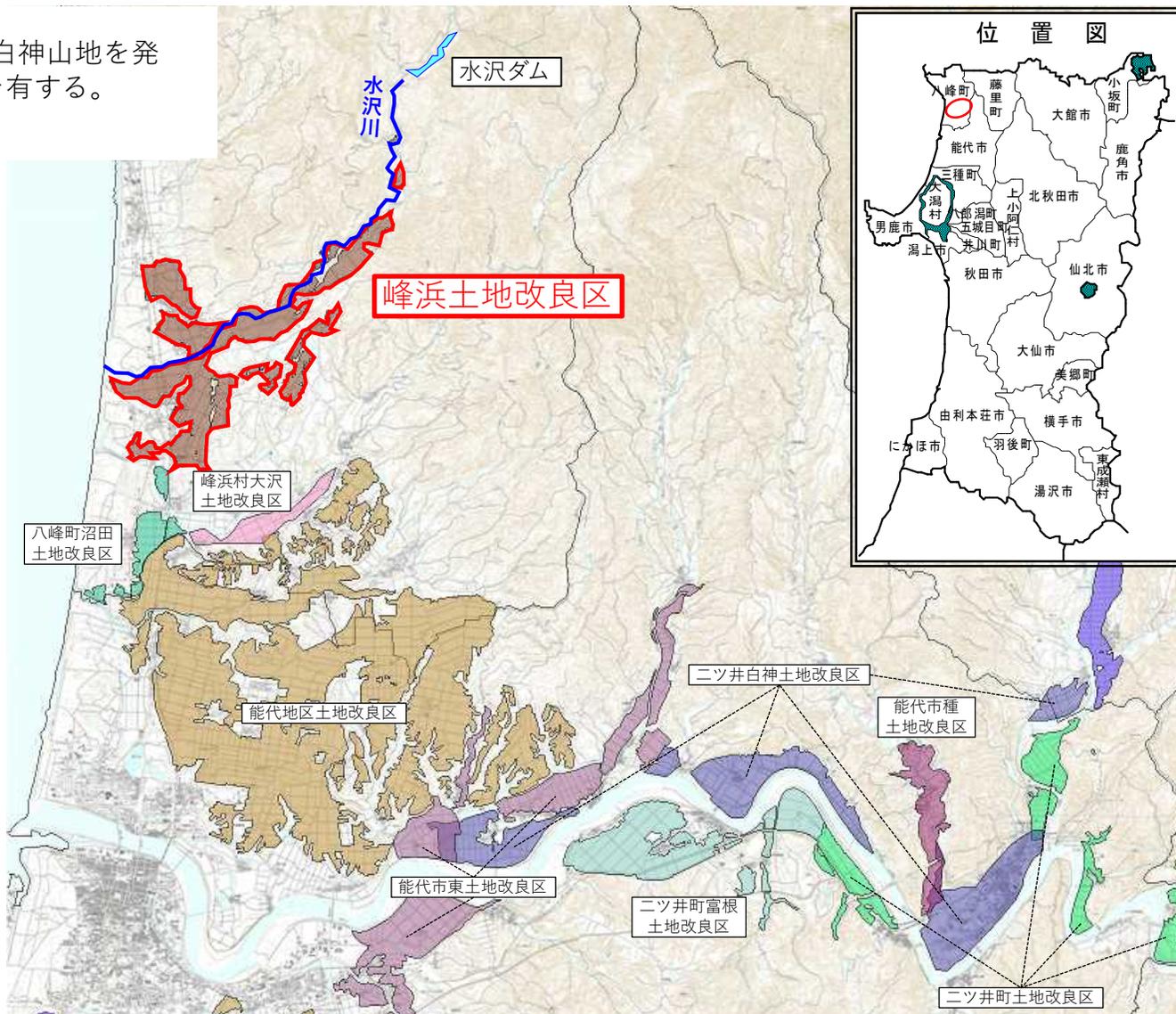


峰浜土地改良区

受益面積 478ha

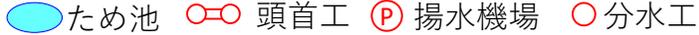
地域の概要

- 秋田県の日本海沿いの最北部、世界遺産である白神山地を発し、八峰町の中央を流れる水沢川沿いに受益地を有する。
- 水沢ダムはかんがい容量を有しており県が管理。



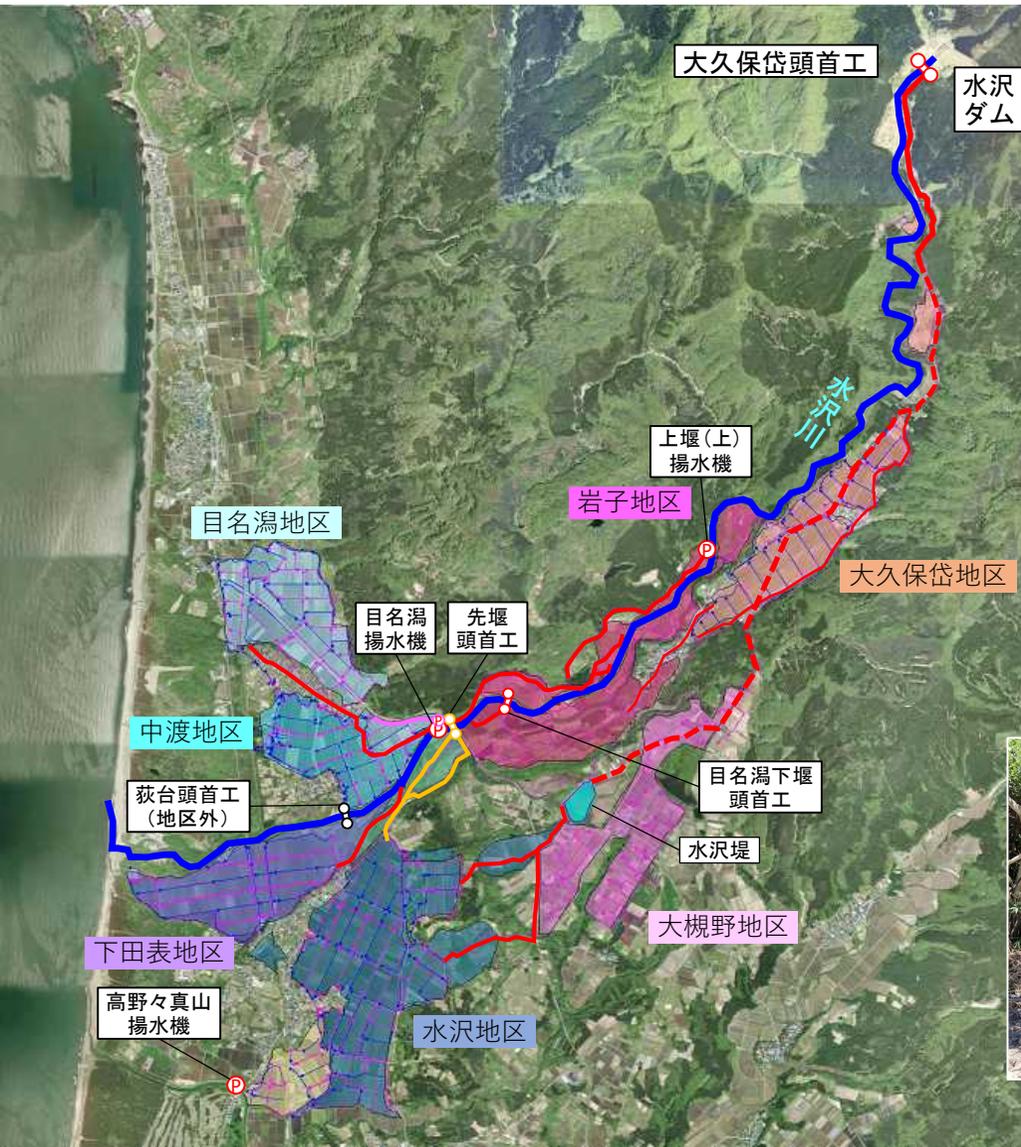
【内 容】

- 農業水利システム（全体）
- 農業水利システム（大久保岱）
 - ・（各施設の状況）水沢ダム・大久保岱頭首工
- 施設の維持保全
- ほ場整備

作 成	秋田県 農業農村整備等技術検討委員会 秋田県山本地域振興局農村整備課
協 力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 峰浜土地改良区 ・ 八峰町 ・ 秋田県土地改良事業団体連合会
作成経緯	ver. 1.0 令和7年3月
基本凡例	  <p>※ 資料作成の都合上、必ずしもこれらのおおりの表記となっていない場合がある</p>
出 典	<ul style="list-style-type: none"> ・ 秋田県水土里情報システムのレイヤを使用したものは次のとおり 地形図：「測量法に基づく国土地理院長承認（使用） R6JHs 74-GISMAP59536号」 航空写真：「© NTT InfraNet, JAXA」 衛星写真：「© NTT InfraNet, Maxar Technologies.」 ・ その他土地改良区提供資料など
備 考	<p>本資料は、秋田県の農業を支える基盤であり、地域資源でもある農業水利施設について、土地改良区毎にその構成、歴史、維持管理等の概略を示し、土地改良区の組合員のみならず地域住民の皆様に対し広く周知するものです。</p> <p>これにより、各地域の農業水利施設を保全管理することの重要性について理解を深めていただき、農業水利施設の持続的な機能発揮と秋田県の農業の発展の一助となることを目指しています。</p> <p>本資料については、現地調査に加え、水土里情報システム内の資料、過去に実施した事業の資料、土地改良区からの提供資料、土地改良区からの聞き取りなどをベースに作成していることから、時点が古い情報や現状と比較し正確ではない情報が含まれていることがあります。このため、本資料を閲覧される方に置かれましては、このことを予め御了知いただくとともに、本資料を利用すること等により生じるトラブルや損害等については、秋田県ではその責任を負いかねますので、予め了承ください。</p>

農業水利システム概要（全体） 水沢ダムに貯水し水沢川から頭首工や揚水機場で取水

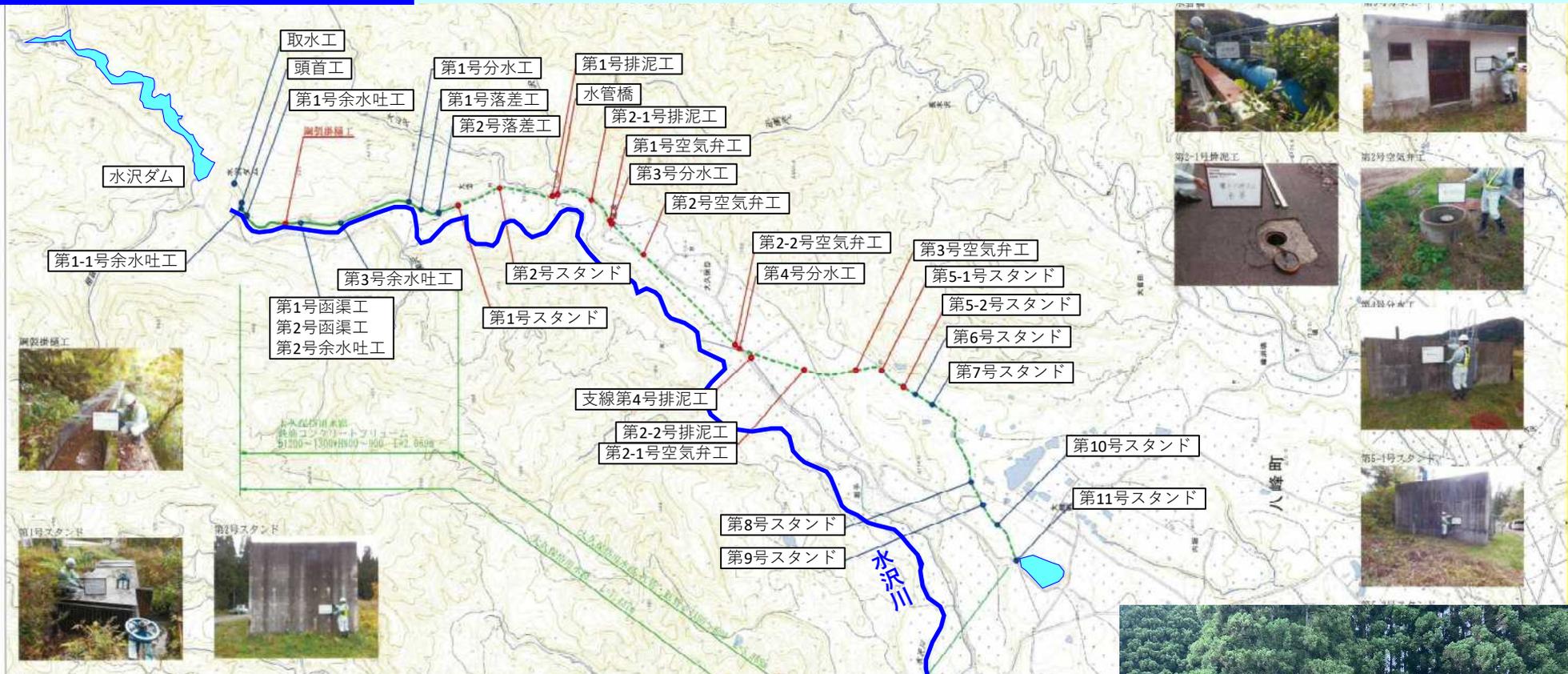
- 水沢ダムを調整水源とし、頭首工・揚水機場により取水し、主として開水路を通じ用水供給する供給主導型。
- 地区上流部を受益とする大久保岱の幹線水路は、途中より圧力管となっているが、支線・末端は開水路。
- 地区下流部を受益とする複数の頭首工及び揚水機は、開水路を通じ用水供給。



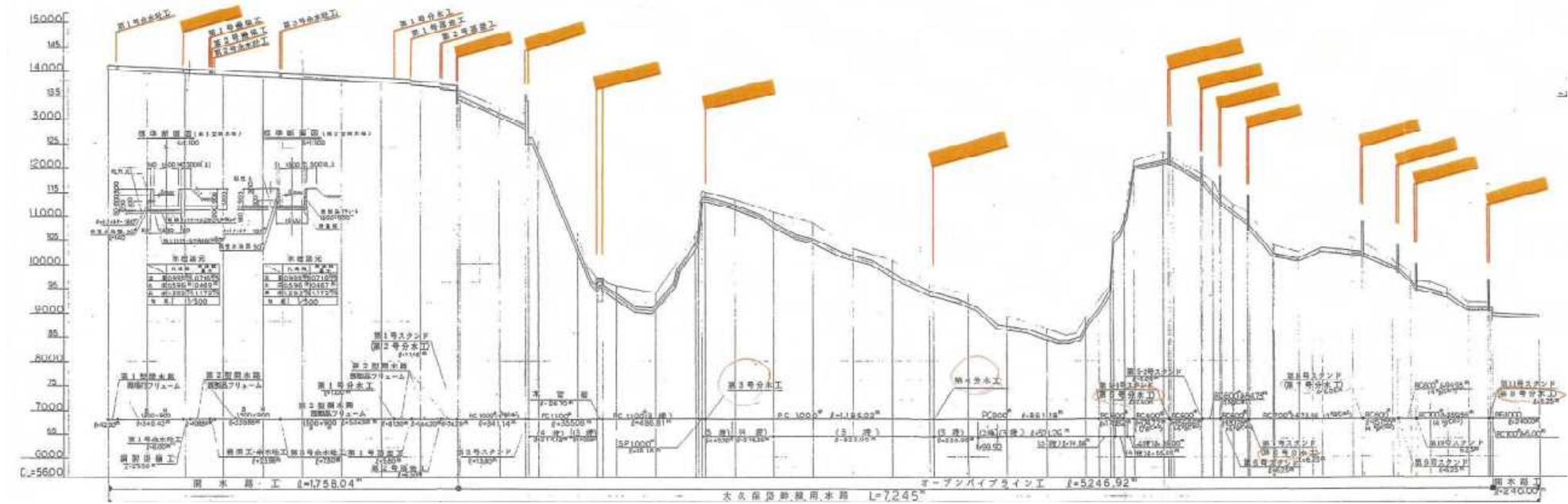
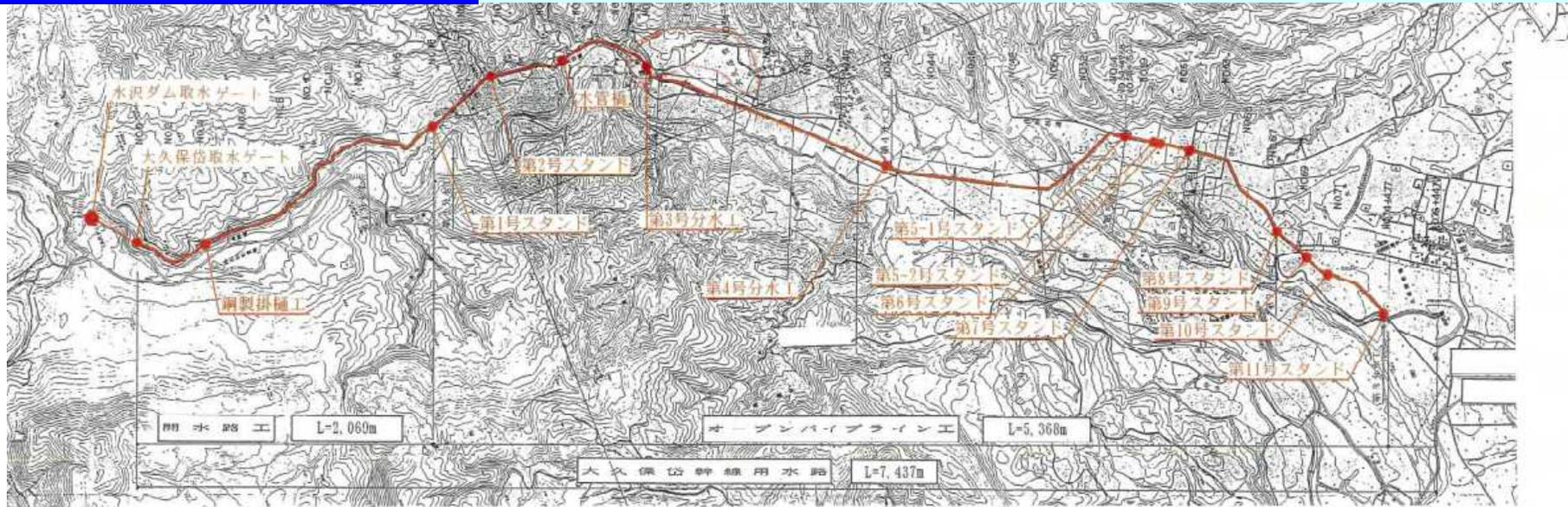
右岸下堰幹線水路：目名瀧揚水機場注水部



農業水利システム 大久保岱 頭首工→開水路で導水した後、圧力管による送水



橋脚	5-4	橋脚	5-2	水門	5-3	水門	5-4
水門	5-2	水門	5-2	水門	5-3	水門	5-4
水門	5-2	水門	5-2	水門	5-3	水門	5-4



(各施設の状況)

水沢ダム・大久保岱頭首工

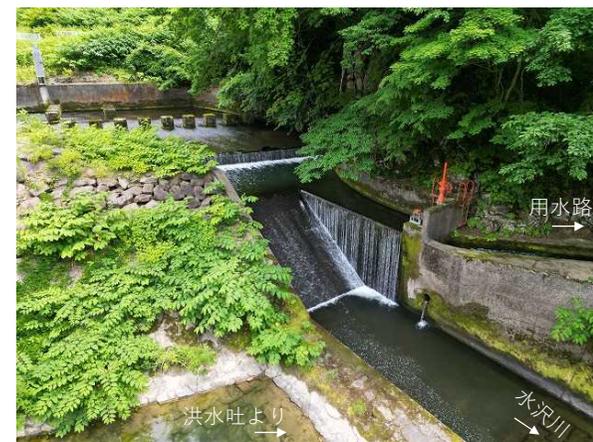
- 水沢ダムは洪水調節とかんがいを目的とし、昭和52年から平成6年にかけて秋田県が造成した多目的ダムである。管理は秋田県が行っている。
- ダムの直下流部に大久保岱頭首工が設置されており、これを含め下流約480haの水源となっている。

水沢ダム

造成主体	秋田県	工期	S52～H6
形式	中心コア型 ロックフィルダム	流域面積	27.0 km ²
堤高	46.5 m	堤長	235 m
堤体積	568 千m ³	満水面積	24 ha
総貯水量	3,001 千m ³	有効貯水量	2,596 千m ³
有効貯水量のうち	洪水調節容量	(洪水期)	2,312 千m ³
	利水容量	(洪水期)	284 千m ³
		(非洪水期)	870 千m ³
	堆砂容量		405 千m ³



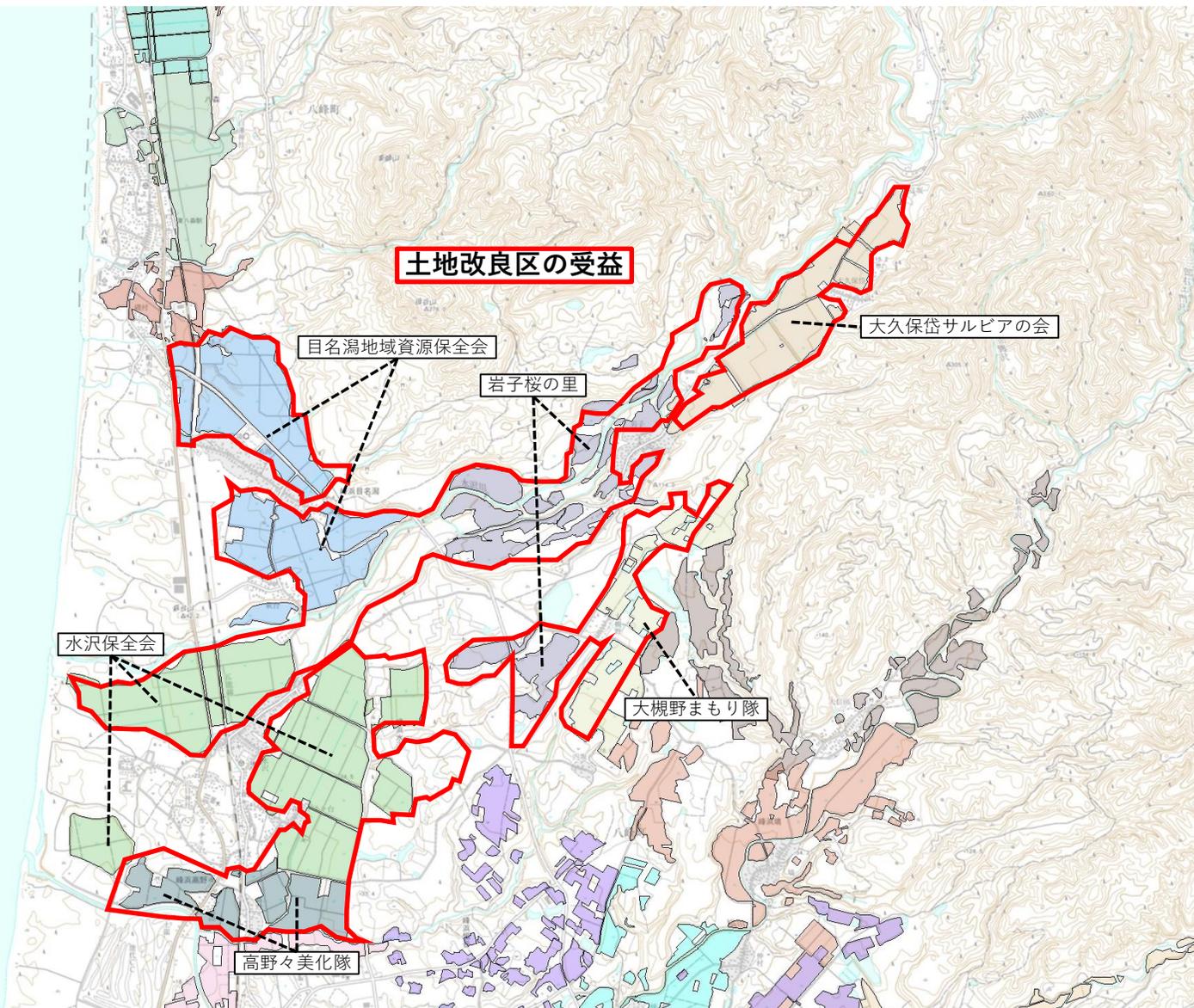
大久保岱頭首工



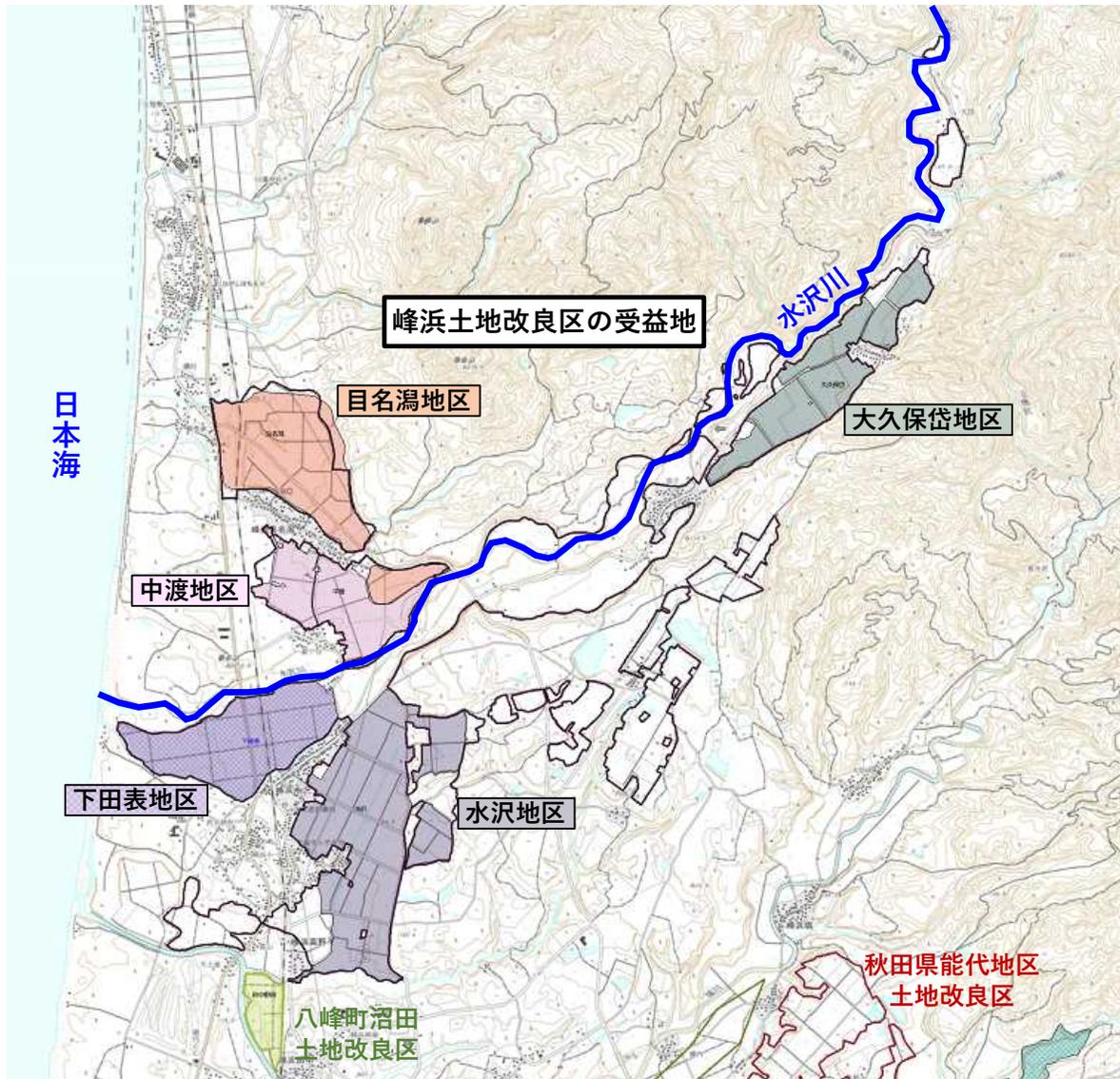
水沢ダムの直下流にあり、水沢ダム取水工からの流水を副ダムにより堰上げし取水する。



- 土地改良区受益地のほぼ全域が6つの多面組織活動のカバー範囲となっている。
- これらのうち5組織に対し土地改良区は構成員となっているが、土地改良区は事務受託はしていない。



- 目名瀧地区では昭和後半から平成初期にかけてほ場整備を実施。
- 以後、平成初期から半ばにかけ4地区ではほ場整備および土地総事業に着手。



地区名	制度	工期	受益
目名瀧	一般	S61～H4	63 ha
水沢	一般	H 3～H10	111 ha
下田表	土地総	H 5～H8	61 ha
大久保岱	担い手	H 9～H14	51 ha
中渡	担い手	H13～H19	40 ha